



# NOZAWA news

やすらぎと安心の創造

株式会社ノザワ  
<http://www.nozawa-kobe.co.jp>

Vol. **29**  
2013 — Winter  
平成25年冬号

## 「かんでんエンジニアリング 神戸支店」

**アスロック** 施工レポート

電気工事やコンピュータシステム設計を手掛ける『かんでんエンジニアリング』は、神戸支店と尼崎分室を神戸ポートアイランドに移転・集約されました。外壁は、幅500mmの細幅アスロック横張工法を採用することで、水平ラインを強調したデザインになっています。また、塩害対策としてアスロックカラーフロンが採用されています。

- 建物名：かんでんエンジニアリング神戸支店
- 所在地：神戸市中央区
- 設計：松田平田設計
- 施工：前田建設工業
- Photo：黒田青嵐
- 外壁：アスロック(60mm厚)カラーフロン  
タスロック(60+15mm厚)カラーフロン



# 超高層建築から一般建築まで、あらゆる建築物に対応。 高性能押出成形セメント板 **ALCUS** (アルカス)

## 耐風圧性能の向上

留付専用断面と高層クリップの採用により、耐風圧性能を飛躍的に向上させました。

## 水密性能の向上

長期耐久性に優れた等圧目地を採用、押出成形セメント板初のメンテナンスフリーを実現しました。

## 超耐候・超低汚染型変性無機塗装品

### 〈アルカスカラーセラノ新発売〉

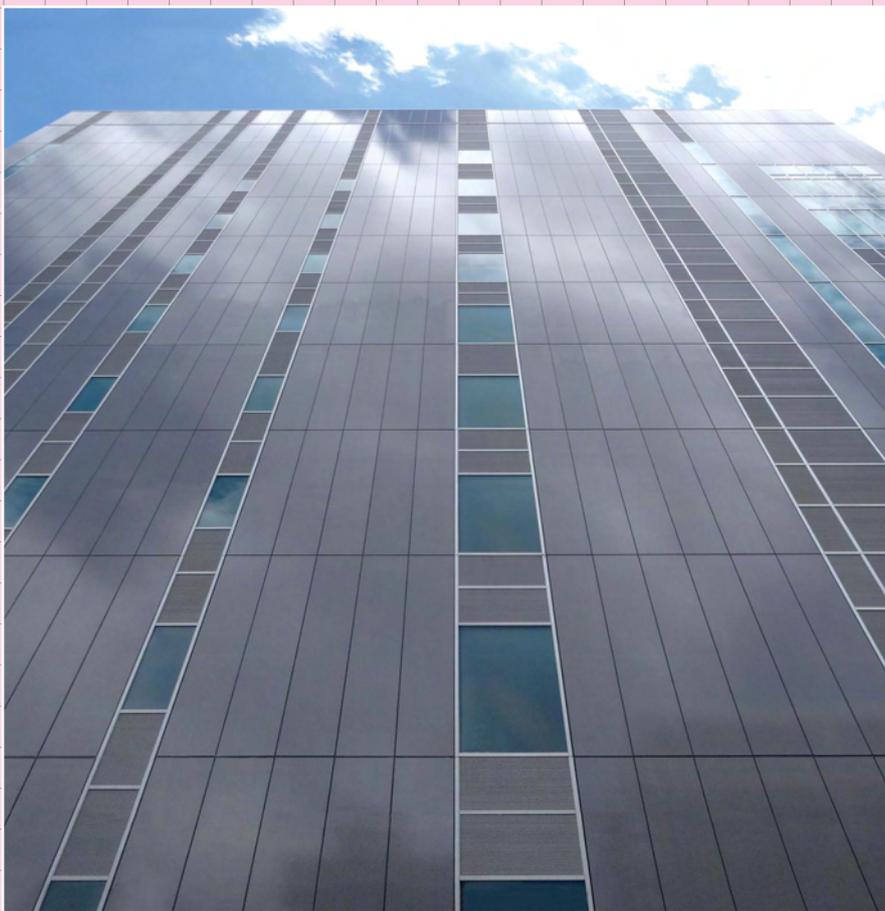
30年相当の促進耐候性試験で光沢保持率90%以上と、フッ素樹脂を超える耐候性が期待できます。また、無機の緻密で硬い塗膜により超低汚染性を長期間維持します。



## 耐震性能の向上

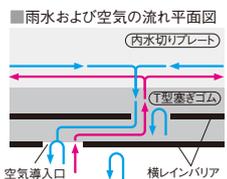
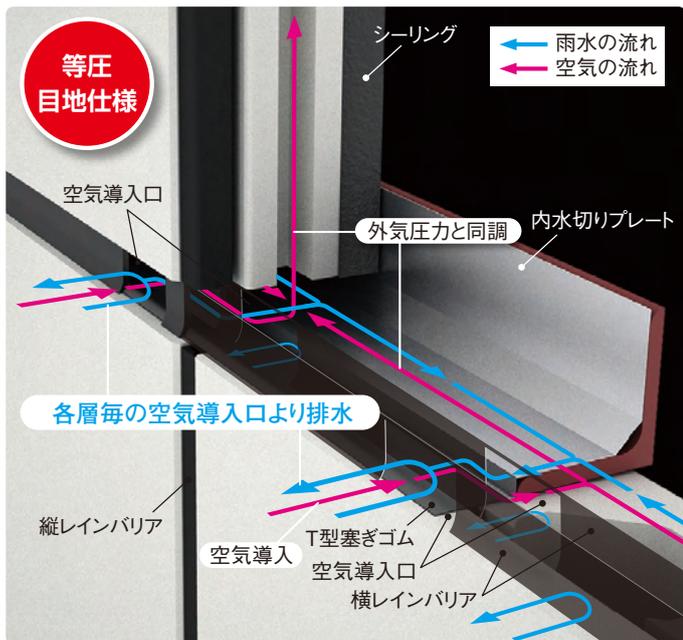
ロッキングブロックの標準装備により、地震時にはスムーズに変位追従します。動的層間変位試験では、最大変形角1/100radにおいて損傷の無い事を確認しています。

## ■沖縄セルラー本社ビル

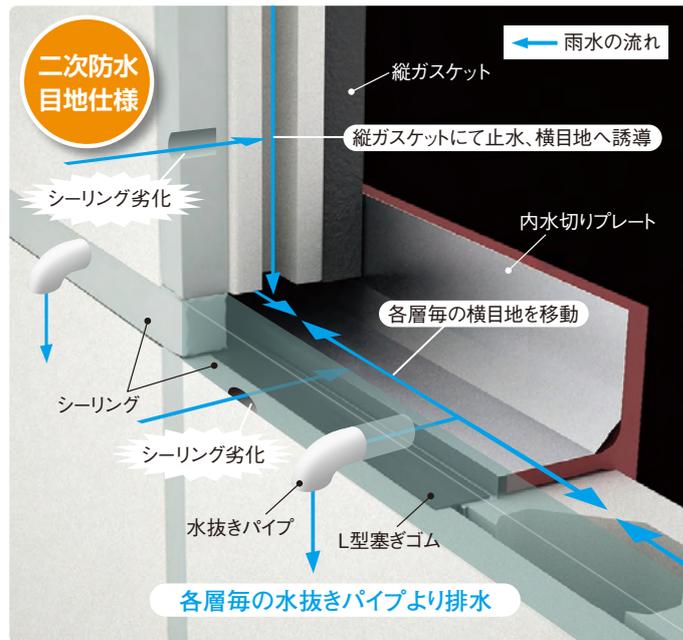


## ■アルカス実績表

建物名	所在地	建物高さ	竣工	設計	施工	品種	目地仕様	仕上げ
住友不動産渋谷ファーストタワー (ラ・トゥール渋谷)	東京都渋谷区	122.37m	2010年8月	日建設計	大林組	アルカス 80mm厚	等圧工法	カラーフロンメタリック
相模大野駅西側地区第一種市街地再開発事業 (bono (ボノ) 相模大野)	神奈川県相模原市	103.79m	2013年2月	アール・アイ・エー	大成・安藤・ 藤木JV	アルカス 80mm厚	2次防水工法	カラーフロン
沖縄セルラー本社ビル	沖縄県那覇市	52.78m	2013年7月	日本設計・ 国建設計JV	鹿島・國場・ 屋部JV	アルカス 100mm厚	2次防水工法	カラーフロンメタリック
カレーハウスCOCO壱番屋大須店	名古屋市中区	7.64m	2013年8月	未来開発建築事務所	護人建設	アルカス 80mm厚	等圧工法	カラーフロン
TSK晴海新社屋	東京都中央区	46.50m	2013年10月	日本設計	清水建設	アルカス 100mm厚	空目地	カラーフロン
読売新聞東京本社ビル	東京都千代田区	200.00m	2013年10月	日建設計	清水建設	アルカス 80mm厚	2次防水工法	カラーフロン

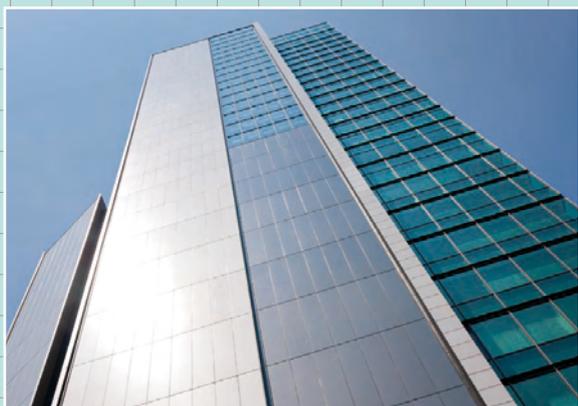
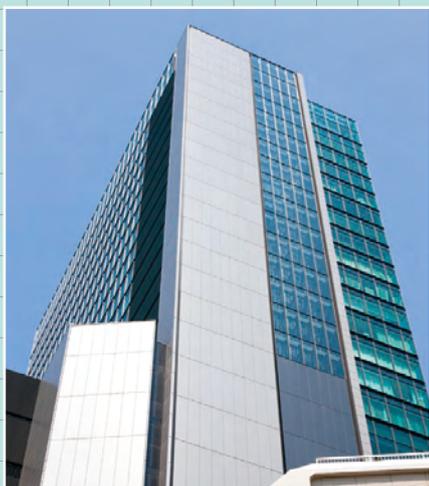


目地内部に必要な空気を導入し、屋外と目地内部との圧力差をなくす事で雨水の浸入を防ぎます。若干の雨水は空気導入に伴い目地内に浸入しますが、室内に達することなく層間毎に設けられた空気導入口より排水されます。



アスロックと同様に止水性は外部側目地シーリングに依存しています。万一、シーリング劣化により目地内部に雨水が浸入した場合には横目地内に設置された内水切りプレートと室内側縦目地ガスケットにより止水します。各層間はL型塞ぎゴムにより区画されているので、雨水を下層に流入させる事なく層間毎に設けられた水抜きパイプより排水されます。層間毎に排水区画が形成されている事から、問題発生箇所の特定がしやすく、対処しやすいと言えます。

### 住友不動産渋谷ファーストタワー (ラ・トゥール渋谷)



### 相模大野駅西側地区市街地再開発 (bono相模大野)





難問以外は即日ご返答させていただきます。  
これからも当社製品・工法に関するお問い合わせは、  
お気軽にカスタマー・サポート・センターにお寄せください。  
[support@nozawa-kobe.co.jp](mailto:support@nozawa-kobe.co.jp)

## 異人館博士の Q&A

**Q33.** アスロックを屋上目隠し壁に使用する場合、風圧力計算に使用する風力係数はいくらにすれば良いですか。

**A33.** 風圧力の算定は、平成12年の建築基準法改正により規定が変わりました。屋上目隠し壁のような板状物は、旧法では風力係数が「 $C=1.2$ 」と定められていましたが、新法では明確な規定がありません。『「平成12年6月1日施行 改正建築基準法・施行令等の解説」講習会における質問と回答』では、「風上面の0.8kzと風下面の-0.4を用いて計算されたい。」としています。ただしこの回答は、遮音壁のような低層の工作物を対象にしていると思われ、高層の屋上目隠し壁には当てはまりません。そこで当社では、新法で規定されている開放型建築物の風力係数「(建物高さにより) $C=3.7\sim 4.5$ 」を使用してきました。

このたび、日本建築学会から『実務者のための建築物外装材耐風設計マニュアル』が発行され、屋上広告板の外装材用ピーク風力係数が紹介されたことから、□型広告板(外周4面全てに広告板設置)の外装材用ピーク風力係数「 $C(+)=5.0$ ,  $C(-)=-4.5$ 」を今後使用することにしました。

なお、屋上目隠し壁を支える構造躯体は、建築基準法改正により「構造骨組用風荷重」と「外装材用風荷重」に区分されているため、外装材用ピーク風力係数を使用する必要はありませんが、外装材に比べて極端に小さい風圧力を使用する事は望ましくなく、構造骨組用風荷重の「正圧+負圧」程度が妥当ではないかと考えています。

## 日経アーキテクチュア 採用したい建材・設備メーカー ランキング2013結果



押し出し成形セメント板などの外装材  
(セメント系、樹脂系など)部門1位  
読者を対象に、建材・設備メーカーの  
製品採用意向等をアンケート調査  
2013年11月25日号

ノザワは、日経BP社発行の建築総合情報誌「日経アーキテクチュア」2013年11月25日号の「採用したい建材・設備メーカーランキング2013」の「押し出し成形セメント板などの外装材(セメント系、樹脂系など)」部門で、8年連続(2006~2013年)第1位に選ばれました。また、「RC用外断熱工法」部門では5位、「耐火被覆材」部門では5位に選ばれました。当社は、今回のアンケート評価を謙虚に受け止め、首位交代が増えるなか来年度も首位になれるよう、顧客満足度を高めていく所存です。

## 設立100周年を迎えたノザワ

ノザワは、本年9月に設立100周年(創業116年)を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今後とも、これまで同様のお引き立てを賜りますようお願いいたします。



神戸あれこれ  
(編集後記に代えて)

## ◇第二十九話「トアロードの名前の由来」

道行く外国人が多いエキゾチックなストリート「トアロード」が、なぜ「トアロード」と名付けられたかには諸説あります。通りの突き当たりに「The Tor Hotel(トアホテル)」があったという『ホテル説』、「Tor」が英古語で岩山を意味するという『英語説』などです。「トアホテル」から「トアロード」になったとするのが一般的ですが、ではなぜホテルの名前を「The Tor」にし、ドイツ語読みの「トア」にしたのでしょうか。実は、「トアホテル」建設の前には洋館が建っていて、ここに住んでいた英国人のパーデンス氏が、この洋館を「The Tor(トールの館)」と名付けています。洋館には故郷にちなんだ命名が多く、パーデンス氏も故郷の岩山を想い命名したことが想像されます。また、「トアホテル」の経営陣にはドイツ人も多く、「トール」ではなく「トア」と発音したと思われる。

「トアロード」の語源かもしれない「トールの館」は、「トアホテル」建設前に解体移転されてハンター邸として再建され、1958年に王子公園に再移転後、1966年に重要文化財の指定を受けています。「トア」よ、永久(とわ)に。

次回は、「異人館観光の起点北野小学校」です。



※上記のイラストはイメージです